

パートナー等からの暴力について

□調査期間 令和2年11月30日～令和2年12月11日

□調査の趣旨 暴力はどのような場合であっても決して許されるものではなく、重大な人権侵害になります。性別に限らず、誰もが社会で対等なパートナーとして様々な分野で活躍するためにも暴力をなくしていく必要があります。
パートナー等からの暴力について、皆様のご意見をお聞きます。

□対象者数 818 人(令和2年11月30日現在)

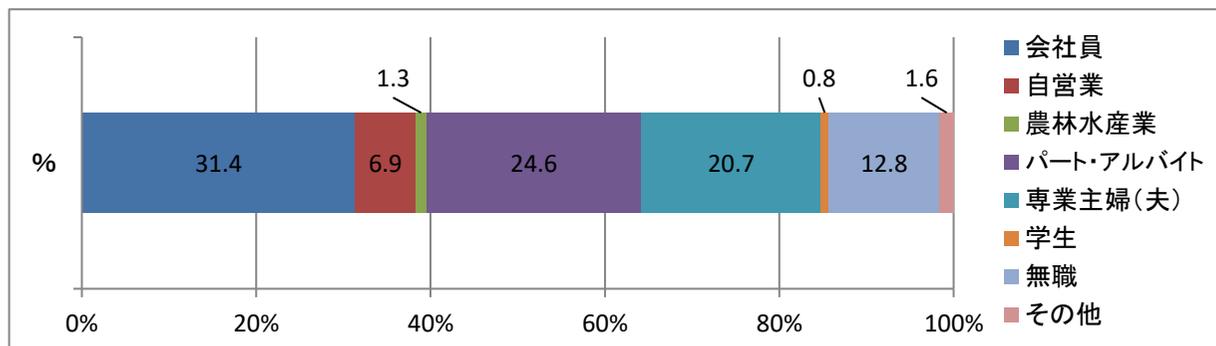
□回答者数 634 人

□回答率 77.5 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【職業】

内訳	人数	%
会社員	199	31.4
自営業	44	6.9
農林水産業	8	1.3
パート・アルバイト	156	24.6
専業主婦(夫)	131	20.7
学生	5	0.8
無職	81	12.8
その他	10	1.6
合計	634	100.1



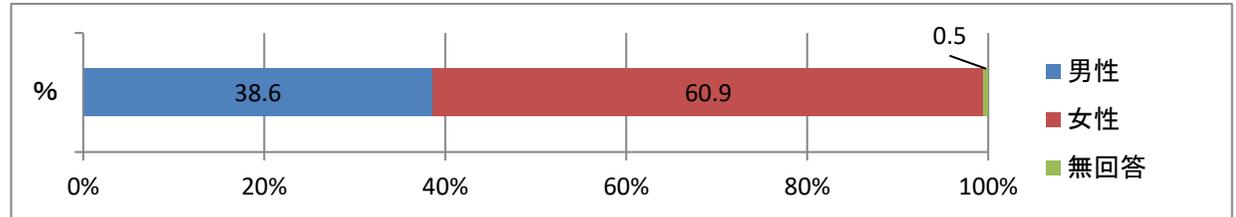
【年齢】

内訳	人数	%
20歳代	25	3.9
30歳代	148	23.3
40歳代	171	27.0
50歳代	131	20.7
60歳代	88	13.9
70歳代	56	8.8
80歳以上	15	2.4
合計	634	100.0



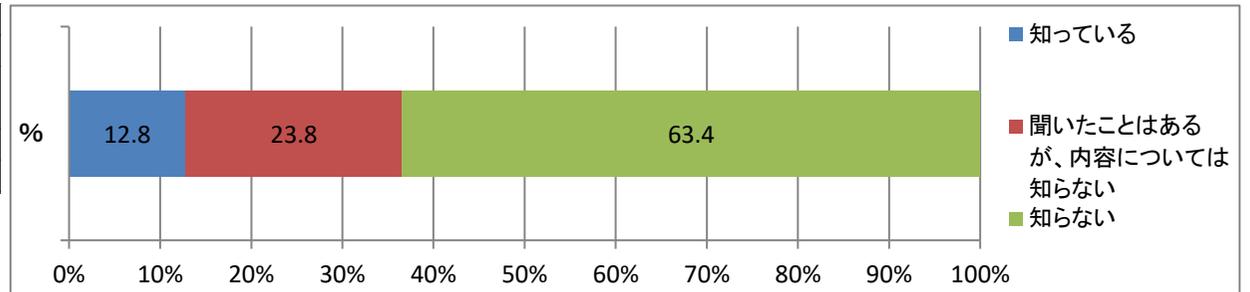
【性別】

内訳	人数	%
男性	245	38.6
女性	386	60.9
無回答	3	0.5
合計	634	100.0



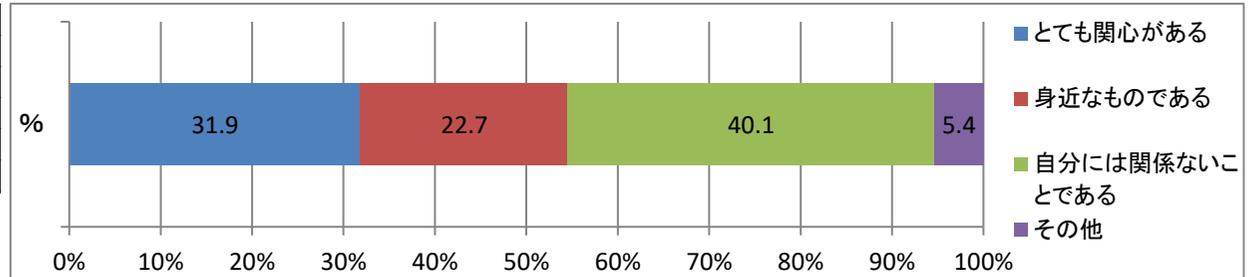
【問1】 内閣府では、毎年11月12日から11月25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、女性への暴力根絶のシンボルであるパープルリボンを活用した取組を実施しています。「女性に対する暴力をなくす運動」を知っていますか？

内訳	人数	%
知っている	81	12.8
聞いたことはあるが、内容については知らない	151	23.8
知らない	402	63.4
合計	634	100.0



【問2】 DV(ドメスティック・バイオレンス)と聞くと、どのように感じますか？

内訳	人数	%
とても関心がある	202	31.9
身近なものである	144	22.7
自分には関係ないことである	254	40.1
その他	34	5.4
合計	634	100.1

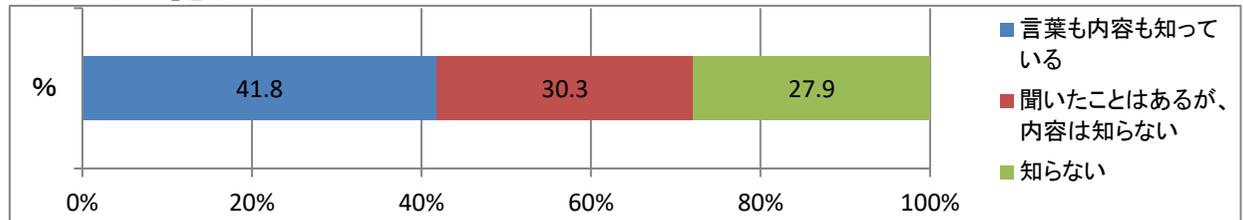


【問2-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者34人)

- 周囲にはわかりにくいからこそ、こわいものだと思う。また、男性が加害者という印象が強いかもしれないが、女性が男性に対して行っていると感じることもあるため、性差なく考えるべき問題だと感じる。
- 怖い
- 恐怖
- 自分は経験がないが、テレビ等で見て怖いと感じるし、対策は必要だと思う。
- 言葉はよく見たり聞いたりするが、自分にとって今の段階ではTVや新聞上の事である。
- 目に見える暴力は分かりやすいが、他人には分かりにくい言葉の暴力や精神的に追い込む威圧的な態度等、複雑でデリケートな問題と感じる。
- いつ自分の身におこるかは分からないと思っています。
- 自分に関係ないようで、実は身近にきっかけがあったり、友人の中に加害者や被害者がいるかもしれない。外からは一見分からないけど、身近に存在する問題だと思う。
- 本質的には「自分には関係ない」です。何故なら、DVをする人は本能的に相手を選んでいる。(全く無理な相手を選ばない)
- 無関心ではないがとても関心があるわけでもない。
- よく目にしたり耳にしたりするけれど、遠いお話だなと云う感じ。
- 自分には全く関係のない事ではあるが、無関心であることに対して負い目を感じている。
- 親近者から受ける暴力の事だと思っています。
- 周りの人で聞いたことがないのでよく分からない。
- 身近でもなく特に関心はないが、あってはならないことだと思い、解決してほしいと思う。
- 女性の主張だけが優遇される腹立たしいもの。
- 関係ないとは思わないが関心がない。
- 関心はあるが、身近に体験者がいないので、とても関心があるとは言えない。
- 話には聞かぬが身近にはないので実感はないが、道徳の時間が減ったのが問題ではないかと思う。
- 関係ないわけではないが、身近でもありません。
- 男性が女性に暴力をふるうイメージがあるが、逆のパターンもあると聞く。感情をコントロールできない人間。
- 身近にいないし劇中のような気がするのですが、やはりあるんだと思いました。
- 許せないと感じる。
- どれにも当てはまらない。自分がと思うと逃げたくても逃げられない状況など精神がおかしくなりそう。
- 関心はあるが身近ではない。
- 関心はあるが「とても」というほどではない。
- ひどいものだと感じる。
- もちろん、相手の言い分もあろうが、女性に暴力はもつてのほかだと思う。言葉の暴力も見逃せない。夫婦間のことなので周りは口出ししにくい。
- 身近ではないが、関係ないと冷たくあしらってもいいない。
- 弱い者いじめ
- 関心はあるが、自分には起こらないと思っている。

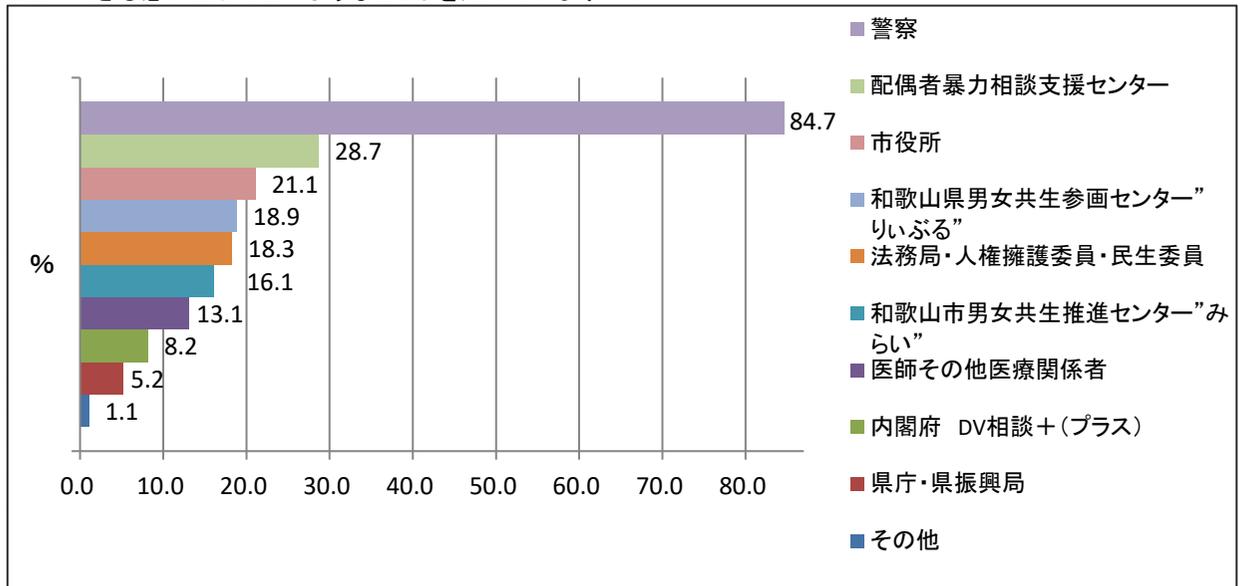
【問3】 交際相手から暴力を受けることは「デートDV」と言われていますが、「デートDV」を知っていますか？

内訳	人数	%
言葉も内容も知っている	265	41.8
聞いたことはあるが、内容は知らない	192	30.3
知らない	177	27.9
合計	634	100.0



【問4】 配偶者やパートナー、交際相手から暴力を受けた時に相談することができる窓口としてどのようなところを知っていますか？

内訳	人数	%
警察	537	84.7
配偶者暴力相談支援センター (県子ども・女性・障害者相談センター)	182	28.7
市役所	134	21.1
和歌山県男女共生参画センター”りいぶる”	120	18.9
法務局・人権擁護委員・民生委員	116	18.3
和歌山市男女共生推進センター”みらい”	102	16.1
医師その他医療関係者	83	13.1
内閣府 DV相談+(プラス)	52	8.2
県庁・県振興局	33	5.2
その他	7	1.1

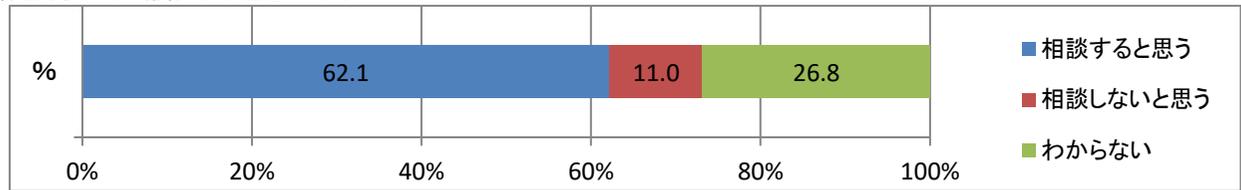


【問4-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者7人)

- 法テラス
- きのくに被害者支援センター
- 病院から通報してくれた。
- 児童相談所
- 法律事務所
- 和歌山mine、ココニハ等市民団体

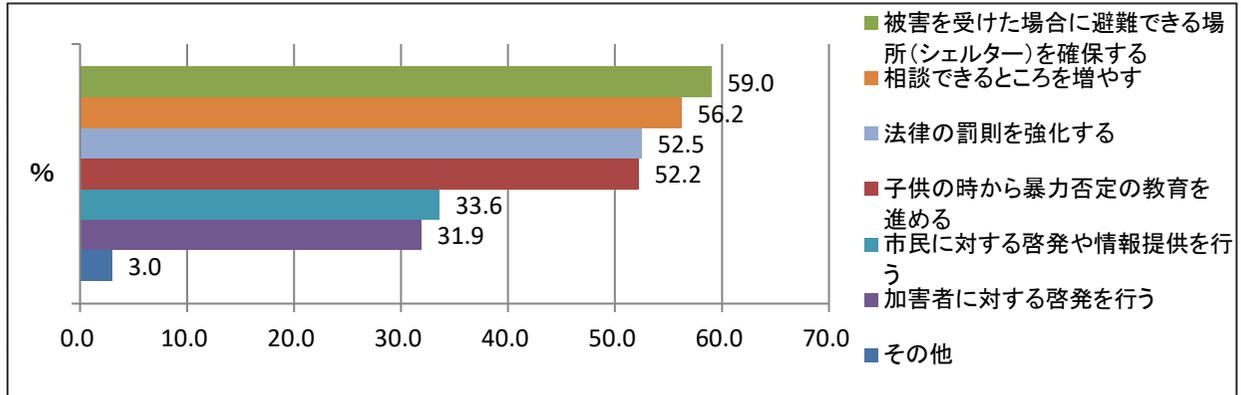
【問5】 もしあなたが配偶者やパートナー、交際相手から暴力を受けた場合、誰かに相談すると思いますか？

内訳	人数	%
相談すると思う	394	62.1
相談しないと思う	70	11.0
わからない	170	26.8
合計	634	99.9



【問6】 DVやデートDVを防ぐためにどのようなことが必要だと思いますか？

内訳	人数	%
被害を受けた場合に避難できる場所(シェルター)を確保する	374	59.0
相談できるところを増やす	356	56.2
法律の罰則を強化する	333	52.5
子供の時から暴力否定の教育を進める	331	52.2
市民に対する啓発や情報提供を行う	213	33.6
加害者に対する啓発を行う	202	31.9
その他	19	3.0



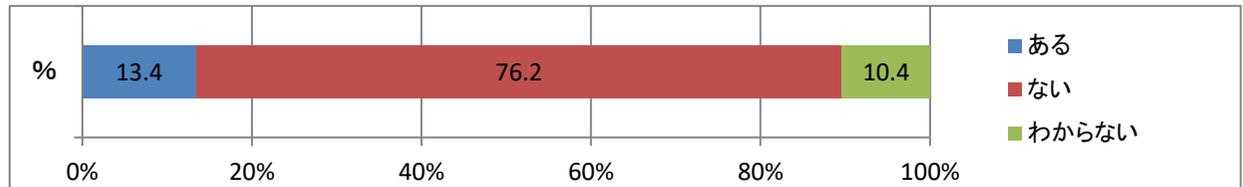
【問6-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者19人)

- 心のゆとりをもって過ごせる社会になること。
- DVで育ってきて大人になって人間にDVダメと言ってもムリ。自分がされて我慢しつづけて当たり前のことを、今度はしてはいけないと言っても、じゃあ自分が今までされて我慢してきた行き場はどこ？となるだろう。我慢しつづけて行き場がなくなって爆発してDVになるんだろうから。外で暴力否定になっているから、家の中で爆発するんでしょう。それに誰かに相談しても、殴られるこちらに問題あるかのように言われたりして助けてなんかくれません。家の中に防犯カメラつけますか？男尊女卑やパワハラモラハラ対策ができないとDVはなくせないと思う。
- DV加害者の引き金は社会の変化とともに変わる気がするが、ベースになっている心の問題の闇を解析する必要がある気がします。
- 暴力を受けるのはどちらかと言えば夜が多いと思いますので、電話だけでも夜間相談できる電話番号を広く公開、宣伝して、知れば安心と思います。
- 近隣近所からの通報や話を聞く。
- 身近な人の様子に感心持って助言してあげる事が大事かと思う。今の現状を変えるためには本人が加害者から離れる勇気を持たないと無くせ無いと思うから。
- DVの訴えがあった場合、受けたとされる方を保護することは必要ですが、その後相手方からも話を聞くなど、本当にDVが起きたのか検証することも必要。今の制度ではDVを訴えた者が有利になるような傾向が強くみられる。
- 上記記載内容全てにおいて、メリットやデメリットがあるので、一概にこれとは言えない。当事者間の問題なので、DVを受けていると思った人は自分で早めに対処すべき(自助)だし、周りで気付いた人が何らかのアドバイスをするべきこと(共助)だと思う。最終的に公的機関(警察、弁護士、役所など)の部分に頼る(公助)。
- 義務教育時期などにアンガーマネジメント研修を行い感情のコントロールの仕方を習得する。
- 食の改善。荒れた学校で給食の改善を行ったところ非行に走る子供が改善された話を聞きました。ジャンクフード、糖質でイライラしやすくなります。被害を受けている方の安全を守ることはとても大切です。食べたもので心や体はできています。食の見直しで人格形成できるのではないのでしょうか。
- 匿名で相談できる窓口やネット相談など、身分を明かさずに力になってもらえる機会を増やす。

- 恋人からのDVは家族のDVより軽く扱われそうで相談しにくい。また、相談できる機関を知らない若い世代も多いと思うので、もっと広めてほしい。
- テレビなどで正しい知識が広まるようにする。
- 警察による巡回
- DVの経験や行動をしたことがないので、防止策は全く思いつきません。現在、実際にどのくらいDVが発生しているのですか？
- 人権についての教育を継続的に行う。子供に対してはある程度教育できていると思うが、それを否定する考えの大人が一定数いると思うので、大人への啓発が重要だと思う。
- 言葉の暴力などもふくめて、基本的人権の尊重について丁寧に学ぶ機会をつくり、誰もが大切にされるよう社会全体で示していくことが大切だと思います。自己責任論にせずきちんと訴えていけるよう窓口を強化し、相談を受ける側にも専門的な教育をきちんとしていくことが必要だと思います。

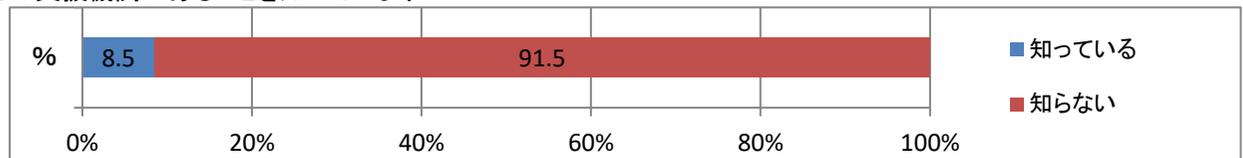
【問7】 内閣府では令和2年度から令和4年度までの3年間で「性犯罪・性暴力対策の集中強化期間」として、取組の強化を行っています。あなたは身近な人から「同意をしていないのに、無理に性行為をされ嫌だと感じた」という話を聞いたことがありますか？

内訳	人数	%
ある	85	13.4
ない	483	76.2
わからない	66	10.4
合計	634	100.0



【問8】 「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」などの支援機関があることを知っていますか？

内訳	人数	%
知っている	54	8.5
知らない	580	91.5
合計	634	100.0



【問9】 パートナー等からの暴力について、ご意見等ございましたらご記入ください。(任意)

- 言葉の暴力でも、傷つく。
- 正直いいにくいと思う。
- パートナーから暴力を受けている人が自分から相談に行くのは難しい。暴力を受けている自覚がない人もいると思う。小学校など幼いころからの教育が必要だと思う。
- 被害者本人は暴力を受けている時は正常な判断ができません。暴力を受けているのは自分が悪いから、自分が我慢すれば丸く収まると考え、周りに相談できません。怪我して病院へ行っても、パートナーからさらなる危害が加えられることを恐れ、本当の怪我の理由が言えません。最初から相談できる人は、ひどいDV被害にあっていないと思います。誰にも相談できないからこそ、DV被害が進行していきます。被害者が暴力を受けることは普通ではないと認識し、一人で悩まない仕組み(行政の相談窓口など)があるのが周知されたら良いと思います。相談窓口で電話するのもかなり勇気がいるし、守秘義務があるか不安に感じるとは思いますが、絶対に一人で悩んではいけないです。
- パートナーの暴力は身近すぎて大変だと思う。
- DVを受けている本人が現状を脱する勇気が無ければ、周囲の人が何を言おうと助ける事は出来ない。精神的に追い込まれている人を助けるには、心療内科の専門知識と十分な衣食住の確保をした上で、被害者の強い意志が必要と思う。
- 難しい問題だと思います。
- 被害者の身の安全をしっかりと守れる体制を構築する。
- 徹底的になくしたいです。
- 声を上げること自体、被害者にとってデメリットが大きい限り改善は困難かと思われる。デメリットを排除出来る環境・教育・システムが機能すれば、良い方向に向かうと思います。
- DVというと肉体的なことを指していると思いますが、精神的な言葉攻撃の方が圧倒的に多く、また被害が出ているように思います。そちらにも目を向けてほしい。
- 暴力だけでなく経済的なDVをされている場合、相談したことによって経済的DVに値しています、みたいな証明書を役所もしくは相談先で発行して欲しいです。

- 近頃テレビやラジオでよく取り上げているように思う。知らないことが1番の悪。加害者も被害者も相談でき、秘密を守ってくれる場所は必須です。
- DVにあっていて人を知っているが、共依存になっていた。DVは良くない事だと思うが本人次第だとも思う。DVから本当に逃れたいと思っている人には、手助けが必要。
- お互いを尊重しあう関係を築くことが大切であると思う。
- 身近にはいませんが、ニュースで見える限りでは秘密厳守のはずが何らかの形で被害を受けてる方の住所が加害者に知られて殺されたと言う話を何度か耳にする様に思います。秘密が漏れない様に官公庁等あらゆる所でうかつに知られない様に徹底して欲しいと思う。そして加害者の方が被害者への依存が無くなるように薬物依存症の様に何らかの工夫が必要だと思う。
- 性犯罪・性暴力は繰り返す、常習性がある。セクハラ行為もセクハラでなく性犯罪である。罪を犯しても執行猶予で簡単に社会に出て、また罪を犯す。再犯をできないような処罰をすべきだと思う。
- 今は実際に身近にいないけど、いたら話を聞いて一緒に相談窓口についてあげたいと思う。でも行動するかは本人次第だから結局加害者側の罰則なり絶対やってはいけない事だっただうにかしてわからせないといけませんが難しいと思う。
- 物理的な攻撃だけでなく、言葉の暴力も被害のうちに入ることを皆様によく理解してもらうべきである。
- 今、暴力の被害に遭われている方の救済支援もさることながら、教育現場で子供たちに様々な暴力がいけないことを丁寧に指導する必要があると思う。暴力が支配する社会、暴力が人権を踏みこむ社会の根絶を目指し、より一層の注力が必要であると思う。
- “女性に対する”と言うことは男性が暴力を振るわれるのはどうなのでしょう？
- 問題が発生した場合、一度立ち止まり相手の立場に立って考えてみる事が重要だと思い実践しています。
- 考える機会も必要性もないが、もし身近で起これば互いに助け合いたいと思います。
- 性的、身体的暴力だけでなく言葉の暴力もかなりあると思う。ほとんどの人は性別問わず受けているのではないか。また、暴力だとは気づいていない例もあるように思う。
- 暴力を振るう人もそういうふうに出てられたので被害者。
- 泣き寝入りしている人が多いのでしょうか。私にはよく分かりませんが、周囲でもそういう話は聞きません。
- 加害者も被害者も、どこからが暴力なのか知らない、気づいていないという話をよく聞く。された方が「いやだ」と感じたらそれは暴力である、ということをもっと知らしめたほうがいい。加害者が些細なことと思っていることでも、暴力であると認識するために分かりやすく身近な例をもっと周知してもよいのでは。
- 本人の受け取り方次第で変わるので、難しい問題だと思っています。
- 「女性のための」と銘打つのはこれからの社会でいかがなものか。同性愛者は対象外なのかと排他的に感じる。男性女性問わず、パートナーからの暴力は廃絶すべき。
- 義理、義務感で対応してくれても本心は何処にあるのか分からない。誘われたという思い込み、勘違いかも。
- 我が家はDV問題は無縁ですが、世の中には被害を受けている女性が沢山いると思います。何とか助けられるシステムを構築して欲しいです。
- 法律に違反するものは厳しく罰すること。初犯だからと言って執行猶予など付けない事。軽くして実刑に。
- 卑劣な行為であるから、ぜひ取り締まってほしい。
- 身近な人から暴力を受けた際に相談できる窓口が多いことにびっくりしました。
- 相談窓口がどこにあるのか分からない。
- まだまだ人に話せる人は少ないと思う。
- 加害者は自覚がない場合も多いから、加害者に対する啓発はあまり効果がないのでは？被害者がすぐにSOSを出せる環境整備が優先。
- 言葉の暴力、威圧なども厳しく取り締まってほしい。
- 泣き寝入りするのは女性。もっと相談する所を増やす、インスタやツイッターで啓発するなどしてほしい。
- 最近は何でもありで、乱れています。
- パートナーから暴力を一回でも受けたら、即警察沙汰にして世間に公開する。
- DV、デートDVについて言えば日常茶飯事になり、当事者になりながら、それが当たり前のように思っているのが現状です。より一層の啓発も必要だろうし、子供の時から暴力はいけない事だと教育の強化をしなくてはいけないのではないかと思います。
- 周りの人や加害者には相談していることを知られたくないと思うから、電話やネットで極秘で気軽にできる窓口を開設したらどうでしょうか。
- 警察に相談し被害届を出すこと、医者診断書ももらうこと。
- 暴力なんてふるわれたら怖いだらう。訴えることも怖いだらう。捕まったところですぐ出てくるんでしょう。どうすればいいんでしょうね。

- 経済的に女性が弱い立場の場合、DVが表面化しにくく、発見までに長引く事が考えられる。またDVを受けていても、当事者がそれをDVだと認識しない事もあるので、日常の中で気づき、相談につなげていけるよう啓発するなど、予防策を考えて欲しいです。相談においても、守秘義務や特定されないなど、安心して相談できるように当事者に伝える事が必要だと思います。
- 恐怖で支配されてしまうと動けなくなるんじゃないかと思う。周りの人が支えになり、助言するなりしないのだめと思う。
- 暴力を受ける側が自分のせいだと思わないようにしなければならないと思う。児童虐待と同じで、周りにいる人が気づいてあげ、相談機関に繋がられるような仕組みが必要だと思う。
- 知らないこと多すぎだと思います。
- 人間の「情」というものがある限り、実際にDVを受けても相談や解決思考の数はあまり増えない気がする。教育段階で誰もが加害者になりうることを想定して指導する、社会人になっても定期的に個人に「加害者になっていませんか？」と振り返ることができるようなアンケートをとるなど、気付いていない加害者にも定期的に意識させることで「もしかして？」という思考を作る。
- 考えたこともない。
- 日本古来の寺院や神社などの世界観を幼児のころから学ばせる機会を復活させることや、武道の奨励で心身共に鍛えることを積極的に行う様にすれば、無用な暴力が減ると思います。
- 国会の仕事ですが、加害者の刑罰をもっと重くすることを検討すべきだと思います。これは他の犯罪に対しても同じで、犯罪に対する抑止力を強めるべきです。
- 即刻別れます。傷の浅いうちに。
- 結婚を決意する時に、そういう相手かどうかを見極められなかったのか、注意深く考えなかったのか、そこが気になる。
- 暴力だけを捉えるのではなく、そこに至る過程も大事。その過程を分析する事で個々の課題が見えてくると考える。
- 身体的な暴力はすぐに分かるけど、言葉の暴力は分かりにくく、ひどい事を言われて傷つく事も多いです。それがDVなのかどうなのか、その境目がややこしいです。
- 女性から男性への暴力というものもあるはずなのに取扱わないのはなんでなのでしょう？
- DVIに関しては男性から女性に対してと思われがちであるが、反対のケースのあることも啓発してほしい。
- 良好なパートナーシップを築く為に、日頃から相手を敬う心を忘れず、且つ心身共に自分磨きも少しずつ行い、日々精進、徳を重ねていくしかないと思います。
- テレビドラマでも安易に性暴力の描写を使い過ぎて。ドラマは予測不可能に映し出されるので、怖い思いをする。その後何日も怖い思いをする。
- 私の周りにはないのでよくは分からないが、そのパートナーにマインドコントロールされているのではと思う。暴力を受け続けているのに逃げることもできず相談もできず、もっと身近に駆け込む所があればいいのと思う。
- 今回のアンケートで相談窓口がたくさんあることを知りました。私が無知なだけかもしれませんが、こういう窓口があるよということをさりげなく知ってもらうことが大切だと思います。
- 他人がとやかく介入できない色んな問題がそれぞれあるから、専門の公的機関の充実が課題。
- 第三者から見たらDVでも、加害者からすると理由のある暴力、被害者にとっては「自分が悪いから」と思いがちです。DVIは回数・程度の差に関わらず、暴行罪なのだということを市民全員の常識として定着させ、当事者も正しく認識できることが何より大切だと思います。
- パートナーなどからの暴力については男女の付き合い方の問題があるかと思います。楽しい時ばかりではなく、苦しい時も変わらずお互いのことを思い続けて行動していけるか否かの判断が不足しているのではないかと思います。
- 氷山の一角で、世間体もあり、泣き寝入りしている人は結構いると思います。気軽に相談できる所を知っておく為にも、学校教育で授業に取り入れるべきだと思います。特に親からの暴力を受けた子供はどこに助けを求めればいいのか分からないのが現実かと。
- DVと聞くと昔は男性から女性へと言うイメージでしたが、近年は女性から男性、または子供から親へといった暴力も増えていると耳にします。様々な各家庭などの事情もあるかと思えますし、暴力をする側にもされる側にも何か原因があると考えます。両人にも心の面からサポート出来る体制が必要だと思います。
- 法律やまちぐるみの対策も必要だけど、まずは自分がしっかり相手を見極めることが先決。周りの意見はしっかり受け入れるように気持ちにゆとりを持つことが大切だと思います。
- 相手に不満、不信、恐怖があるのに、一緒に生活をする気持ちはない。我慢せずに別れなさい。それに必要な事は、行政やその他警察でも今は、積極的に活用していける時代になりつつあると感じている。DVなどは、人間の尊厳に対する犯罪です。
- 身近にいないので実感がわかない。
- 司法サイドがもっと早い時点で介入を行い罰則を強化すべきです。
- 一度もないので、想像もできません。
- 簡単に無くなるものだと思う。
- 1度暴力をふるわれたら、繰り返すという話はよくあると思うので、本当に嫌なら離れば良い。ずっと暴力を受けているのは本当に分からない。

- 本人の自己肯定感のなさにつけ込んでしまうことがとても多いと思うので、自分をしっかり持つことが大事と思います。
- 暴力を受けて育った人は暴力をするようになりやすいと聞いたことがあるので、暴力否定の教育は必要と思う。
- 根本的に子供の頃の家庭環境がそういう人を作ってしまったと思うから、一番は子供にとって良い家庭環境を作ってあげる事だと思う。
- 加害者側は自分が最も正しいと思っているので、啓発などは無駄だと感じます。罰則強化と安全な場所の強化しかないと思います。
- 黙っていないで相談すること。泣き寝入りしないこと。
- 手をあげることだけが暴力と理解している人が一定割合いると思う。面前で人格を否定する、無視する、生活費を渡さない、相手の交友や社交を妨げることも、暴力である旨を幅広いメディアで常に発信し続けることが重要と思う。
- その相談するところの電話番号が0750の有料だから、すぐに相談する決心がつかない。
- この問題は大変難しいと思う。テレビを見て暴力を振るった後には優しく接しているらしい。余程自分で決意しないと警察や友達などに相談することはしにくいと思います。それに近所付き合いも無くて回りの人も気づけないと思います。なのでもう少し県や市で何かパトロール的なものをしてはどうかと思いますが、今はコロナ禍の中なので無理だろうが、落ち着いたら人員もいるが、予算もいるだろうが、退職して時間やお金に余裕のある方など有志を募り巡回パトロールをして貰うのはどうだろうか？年配の方の方が色々話しやすく相談に乗って貰いやすいのではと思います。
- 小さいころからの教育がとても大事なので、薬物啓発の授業のように、この件も学校で講演して子供達にも小さいころから考える機会を作ってもらいたいです。
- 最近大変多く耳にする言葉です。何とか対等に平等に意識を高めていけたらと願います。
- 自分はなくても、ニュースなどでよく聞くので、もっと相談窓口がわかりやすく開かれていると良いと思う。
- 小さな頃から自分の身体や心を大切にすること、他人の身体や心を大切にすることを幼稚園や学校、公共機関の力で丁寧に教えて考える力を持ってほしいと思います。
- 子供の頃から性に対する正しい知識や認識を持たせるために、大人が偏ったイメージで行動しないように気をつける。
- 隣近所との交流が早期発見のための一つ的手段だと思います。そういう昔ながらの付き合いが少なくなってきた時代なので、相談できる場所のPRが大事だと思います。
- 不倫やネグレクトもDVであることの周知徹底、多くの人に知ってもらうような啓発活動が必要と感じます。不倫問題がテレビで取りざたされるくらい一般化していますが、実際社会的制裁を受ける人は少ないと感じます。
- 質問全般が男性から女性に向けてのDVをイメージされて質問されているように思いますが、反対に女性から男性へのDVが質問に想定されていないように感じるのは自分だけだろうか？偏見だろうか？
- 幼少期から暴力は良くないという教育が必要だと思う。
- パートナーのDVは中々他人には言えないと思います。話せる勇気をもっと啓発して欲しいと思います。
- 性だけでなく精神的な暴力の相談は難しいですね。
- 報道などによるとかなり酷い暴力があるようですね。そういう視点では私は幸せと言えます。皆が幸せに生きていける社会、コロナ禍にあって益々難しいでしょうが、こういう時であるからこそ助け合って住みよい社会にしたいものです。
- 子供の時から暴力はいけないものという教育・啓発を継続的に行うこと、及び暴力を受けた時の相談・退避措置を充実させておくことが重要だと思います。
- 身近にないからと思っているが、実は見えていないだけなのかなと考える事があります。
- ニュースでは、警察に相談しても対応が不十分なので、もっとTVのお知らせなどがあると良いと思います。
- 最近は女性も強くなっているので、DVは両性から議論する必要があるように思います。表に出ませんが、女性からの暴力もあるのでは？
- 身近にそういった方が居ないので危機感を感じないが、加害者は正當に罰せられるべきと感じます。
- ニュースやテレビなどではDVIに関する事は聞くことありますが、思っていたより相談窓口は多いんだなと思いました。けれど被害者の気持ちになると、気軽に相談しにくいなとも思います。万が一身の回りに居たとしたら、向き合って相談受けてあげたいなと思います。
- 根絶してください。厳罰化が急務だと思います。
- 性犯罪やDVは、被害者の人権を踏みにじる、人としてしてはいけない行為なので、子供の頃からの人権教育はとても大切だと考えます。しかしそれだけでなく、性犯罪を犯すとどのような罰則があり、罰則を受けると自分の人生や被害者の今後の人生にどのような影響を与えてしまうかという具体的な内容も子供のうちから学ぶ必要もあると考えます。
- 仲良しで意見なし。
- 経済的に依存している場合、DVを受けても我慢するしかないと考えてしまうのではないか。深刻な状況になる前に、気軽に就職や育児支援の相談ができる場所はあるのか知りたい。
- これくらいまでは許されるという範囲はあると思うが、個人差があるので判断が難しい。ただ何かあったときに安全に避難できる場所の確保が大切。

- 夫婦間では絶対に子供の前でないこと。
- 毅然とした態度が一番有効だと思います。
- パートナー以外にもたくさんの暴力があると思いますが、隠しがちなことなので、それに気づいていけるような社会をどうつくるかということを考えてほしいと思います。電話やメール以外のツールや駆け込み寺のような拠点も必要だと思います。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。暴力は重大な人権侵害であり、絶対にあってはならないものです。皆さまからいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、施策に取り組んでまいります。